

令和6年度 飛騨市少年の主張大会

飛騨市少年の主張大会が6月16日、古川町公民館で開かれ、市内の小中学生が日ごろから考えていることや、心からの思いなどを発表しました。

市内の各小中学校から推薦を受けた12人が出場し、自分のこと、家族のこと、人との関わり合い、身のまわりの中で感じたことなどを少年らしい言葉で堂々と述べました。

なお、中学生の部では、古川中学校3年の天木陸哉さんと糸井董さんの2人が飛騨地区選考会に進みました。

「消費可能性自治体」脱却



天木 陸哉
(古川中3年)

何度でも立ち上がる



糸井 董
(古川中3年)

家族のかたち



大北 紫羽
(古川中3年)

自分を好きでいること



北村 心美
(古川中3年)

自分らしく生きることに



新家 伶美
(神岡中3年)

人間も動物も平等に幸せに



吉澤 芽蘭
(神岡小6年)

「ありがとう」の大切さ



仲表 依乃里
(神岡小6年)

楽しさ



岡田 陽斗
(宮川小6年)

笑顔にするために



板屋 紫万
(河合小6年)

つながる思い



石原 颯起
(古川西小6年)

だれかのためにできること



松田 真星
(古川小6年)

飛騨の自然を生かしてほしい



下出 幸希
(古川小6年)

飛騨市青少年育成市民会議より

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です

スローガン

「なくそう非行 地域で育む青少年」
「青少年 地域で守ろう 育てよう」

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。将来を担っていく子どもたちの健やかな成長のため、地域で一体となり、青少年の非行防止と健全育成に取り組みましょう。





市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員:水樹華・林実香)



5/22 吉之町線街路灯が
東海支部奨励賞を受賞

(一社)照明学会東海支部より、市道吉之町線の無電柱化に伴う街路灯整備が評価され、飛騨市が優秀照明施設「東海支部奨励賞」を受賞しました。今後も魅力ある街なみ景観の整備を続けていきます。



6/6 宮川小全校児童が
稚アユを放流しました

宮川小学校の児童らは、「ふるさと学習」で“地域の宝物”としてアユについて学んでおり、この日は宮川下流漁協の放流事業の一環で、体長11～12センチの稚アユ約300匹を放流しました。



6/9 神岡町に縁のある音楽家らの
演奏会が開かれました

中学生、高校生時代を神岡町で過ごしたギタリストの高村浩二さんをはじめ神岡町に縁のある演奏家らを招いた音楽イベント「ギター散歩道 in KAMIOK A」が船津座で開催されました。



6/4 飛騨市デイサービス事業連携協議会
が発足しました

介護デイサービス事業のさまざまな課題に対し、時代に合ったデイサービスのあり方などを検討するため、市内11事業者で発足した「飛騨市デイサービス事業連携協議会」の皆さんが都竹市長を訪問しました。



6/7 神岡小児童が吉田太子踊り保存会
から「太子踊り」を学びました

ふるさと学習の一環として、伝統文化に触れて郷土への理解や愛着を深めてもらおうと、吉田太子踊り保存会の皆さん12人が神岡小学校を訪問し、3年生児童に「太子踊り」を指導しました。



6/9 「飛騨市長杯ゴルフ大会」が
開催されました

飛騨数河カントリークラブの主催で、飛騨市長杯ゴルフ大会が開催され、市内外から46名が参加しました。大会結果は【優勝】二山真二さん【2位】柴田仁さん【3位】山口幹博さんです。



6/10 環境や電力について学び、「グリーンカーテン」作りに取り組みました

節電の大切さや環境への配慮の必要性を学び、環境を大切にすることを養ってもらおうと、つる性の植物で遮光する「グリーンカーテン」を作ったり、環境について学ぶ授業が、宮川小学校で行われました。



6/11 神岡町出身の山本つちのさんが100歳を迎えられました

神岡町出身の山本つちのさん(大正13年6月11日生まれ)が100歳を迎えられ、野村賢一市民福祉部長から花束等を贈りました。また、家族で写真撮影をされるなどして長寿をお祝いしました。



6/15 山口とも氏による『ともとのガラクタ音楽会in飛騨』が開催

『ともとのガラクタ音楽会in飛騨』が開かれ、市内の親子連れなど27人が参加しました。山口さんが作った廃品打楽器を使用したミニ演奏会、廃品打楽器づくり、作った楽器での演奏体験が行われました。



6/15 秋の国民文化祭に向け「巨大あんどん」の制作が始まりました

「清流の国ぎふ」文化祭2024の一環で、県内の各市町村がそれぞれの地域性や独自性を表現する「巨大あんどん」作りが飛騨市でも始まりました。約20人が参加し、「飛騨市民」をテーマに取り組んでいます。



6/16 飛騨市消防操法大会に替え「飛衛消火訓練会」を実施しました

消防団員の負担軽減や、より実践的な消防訓練を目指し、飛騨市消防操法大会に替えて「飛衛(ひまもり)消火訓練会」を初めて実施。分団ごとの判断で工夫し、アクシデントにも対応しながら訓練をしました。



6/16 バラモリ2024 食べるバラと飛騨の森

バラを通じて町を盛り上げようと開催。バラにまつわる商品や河合っ子マルシェのスイーツ、野草茶、地元農産物等を販売。キッチンカーをはじめ、多彩なステージで、およそ1100人の来場者で賑いました。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員：水樹 華・林 実香)



6/17 古川西小6年生が身近な「杉崎廃寺跡」を見学し、木簡作りに挑戦

古川西小学校6年生が、古川町杉崎にある「杉崎廃寺跡」を訪れ、市の学芸員から説明を聞いて、1300年前の遺跡を歩き、13年後の自分へのメッセージを筆で木札に書く「木簡作り体験」を行いました。



6/22 「やさしい短歌教室」が江馬館で開かれました

江馬氏館跡公園の魅力を広く知ってもらおうと、同会館内で「やさしい短歌教室」が開かれました。神岡町出身で歌集も刊行している川上まなみさんを講師に、市内外から20代～80代の7名が参加しました。



6/25 吉城高校普通科の2年生を対象に都竹市長が講義を行いました

吉城高校普通科2年生を対象に、学校設定教科「ESD」の一環で「地域プロジェクト学習」が行われ、都竹市長が「地域課題解決とは何か～飛騨市の実践から～」のテーマで講義を行いました。



6/18 ドローンに関わる仕事や実際の操作をプロから学びました

自分が得意とすることや好きなことを生かした職業や、将来就きたい職業を考える取り組みの一環で、古川中学校の生徒が株式会社ドローンコンシェルジュの山崎裕考さんからドローンの仕事を学びました。



6/25 市道跡津川線(仮称)跡津川トンネル工事安全祈願祭

神岡町の(仮称)跡津川トンネル工事が着手され、工事安全祈願祭が行われました。この道路が整備されることで、研究施設利用者の安全が確保され、地域の安心安全と活性化が期待されます。



6/26 夏の風物詩「雪中酒」の出荷始まる観光プロモーション大使・永田さんも

河合町天生の湧き水と飛騨産の酒米ひだほまれで仕込み、雪室で貯蔵し熟成させる純米吟醸生原酒「雪中酒」が今年も完成し、飛騨市観光プロモーション大使の永田薫さんも参加して出荷作業が行われました。